

令和 8 年度採用

群馬県公立高等学校教員選考試験問題

## 地 理

|                  |  |            |  |
|------------------|--|------------|--|
| 受<br>験<br>番<br>号 |  | 氏<br><br>名 |  |
|------------------|--|------------|--|

### 注 意 事 項

- 1 「開始」の指示があるまでは、問題用紙を開かないでください。
- 2 問題は、1 ページから 13 ページまであります。「開始」の指示後、すぐに確認してください。
- 3 解答は、すべて解答用紙に記入してください。
- 4 「終了」の指示があったら、直ちに筆記具を置き、問題用紙と番号順に重ねた解答用紙を机の上に置いてください。
- 5 退席の指示があるまで、その場でお待ちください。
- 6 この問題用紙は、持ち帰ってください。

- 1 次の文章は、「高等学校学習指導要領」（平成30年3月告示）に示された科目「地理総合」からの一部抜粋である。後の(1)～(3)の設問に答えなさい。

1 目 標

社会的事象の地理的な見方・考え方を働かせ、課題を  したり解決したりする活動を通して、広い視野に立ち、グローバル化する国際社会に主体的に生きる平和で  な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 地理に関わる諸事象に関して、世界の生活文化の  や、防災、地域や地球的課題への取組などを理解するとともに、地図や地理情報システムなどを用いて、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。
- (2) 地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然環境との相互依存関係、<sup>(a)</sup>空間的相互依存作用、地域などに着目して、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したりする力や、考察、構想したことを効果的に説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。
- (3) 地理に関わる諸事象について、よりよい社会の実現を視野にそこで見られる課題を主体的に 、解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される日本国民としての自覚、我が国の国土に対する愛情、世界の諸地域の多様な生活文化を尊重しようとすることの大切さについての自覚などを深める。

2 内 容

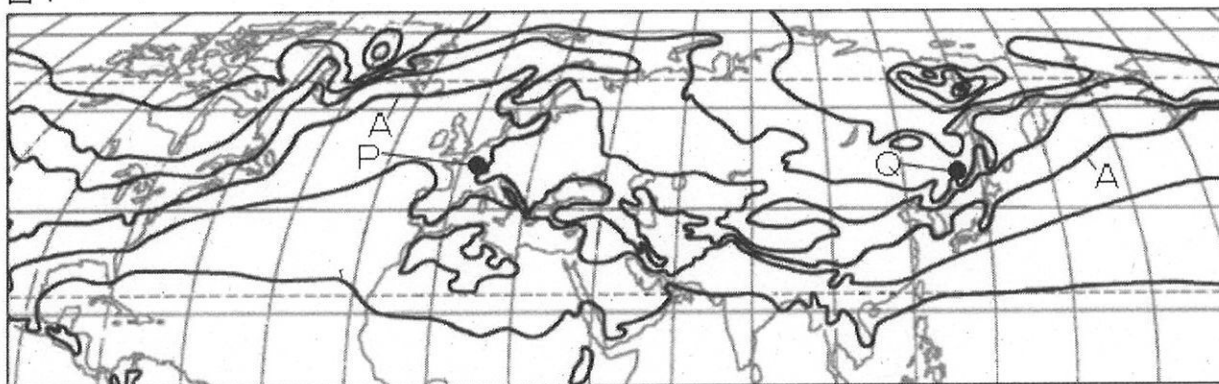
- A <sup>(b)</sup>地図や地理情報システムで捉える現代世界
- B 国際理解と国際協力
- C  な地域づくりと私たち

- (1) 文中の空欄  ～  に当てはまる語句をそれぞれ答えよ。
- (2) 下線部(a)について、「空間的相互依存作用」とはどのようなことか説明せよ。
- (3) 下線部(b)について、「地図や地理情報システム」を扱う際に、GISを授業で活用することで、どのような能力を身に付けることができるか、具体的な学習活動を挙げながら説明せよ。

2 世界の自然環境について、次の(1)、(2)の設問に答えなさい。

- (1) 次の図1は、北半球における1月もしくは7月の平均的な気温を等温線で示したものであり、等温線は0℃を基準に10℃間隔で引かれている。これについて、後の①～⑤の問いに答えよ。

図1



(『Diercke Weltatlas1996』などにより作成)

- ① 次の文は、図1について述べたものである。文中の空欄【 a 】～【 c 】に当てはまる語句の組合せとして最も適当なものを、後のア～クから一つ選べ。

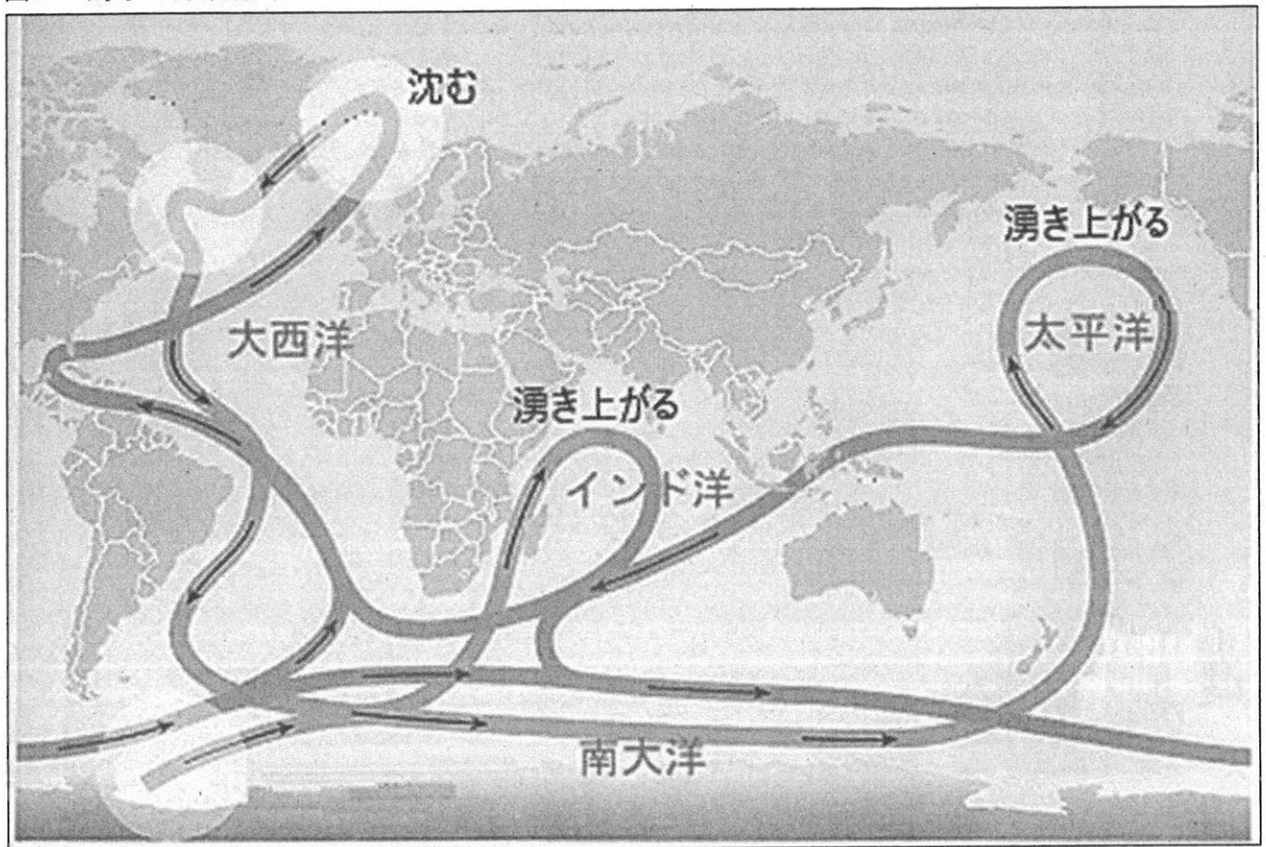
全体的に、【 a 】、【 b 】の方が低温となっており、年較差の大きな地域が相対的に寒冷となるのは、北半球の【 c 】であると考えられる。

|   | a       | b           | c        |
|---|---------|-------------|----------|
| ア | 大陸よりも海洋 | 大陸東岸よりも大陸西岸 | 冬季に当たる1月 |
| イ | 大陸よりも海洋 | 大陸東岸よりも大陸西岸 | 夏季に当たる7月 |
| ウ | 大陸よりも海洋 | 大陸西岸よりも大陸東岸 | 冬季に当たる1月 |
| エ | 大陸よりも海洋 | 大陸西岸よりも大陸東岸 | 夏季に当たる7月 |
| オ | 海洋よりも大陸 | 大陸東岸よりも大陸西岸 | 冬季に当たる1月 |
| カ | 海洋よりも大陸 | 大陸東岸よりも大陸西岸 | 夏季に当たる7月 |
| キ | 海洋よりも大陸 | 大陸西岸よりも大陸東岸 | 冬季に当たる1月 |
| ク | 海洋よりも大陸 | 大陸西岸よりも大陸東岸 | 夏季に当たる7月 |

- ② 図1中Aは何℃の等温線を示したもののか。整数で答えよ。
- ③ ケッペンの気候区分において、図1中PとQの地点はどの気候区に分類されるか。アルファベットの組合せた記号でそれぞれ答えよ。
- ④ 図1中Pの地点における気候の形成に大きく影響している地表付近の大気の流れと、海面付近の海水の流れの名称をそれぞれ答えよ。

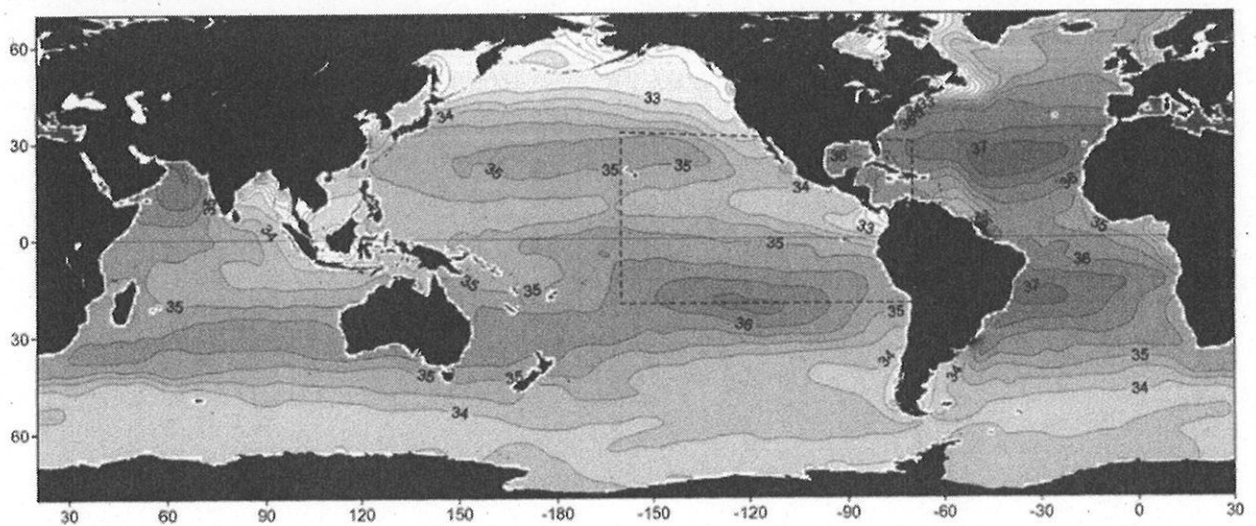
- ⑤ 全球的な温暖化が進行すると、海洋全体の海水の循環が変化し、北大西洋地域においては気候が寒冷化する可能性があることが指摘されている。それはどのような理由によるものか、次の図2と図3を参考に説明せよ。

図2 海水の深層循環



(気象庁 HP より引用一部改変)

図3 海面表層における塩分の分布

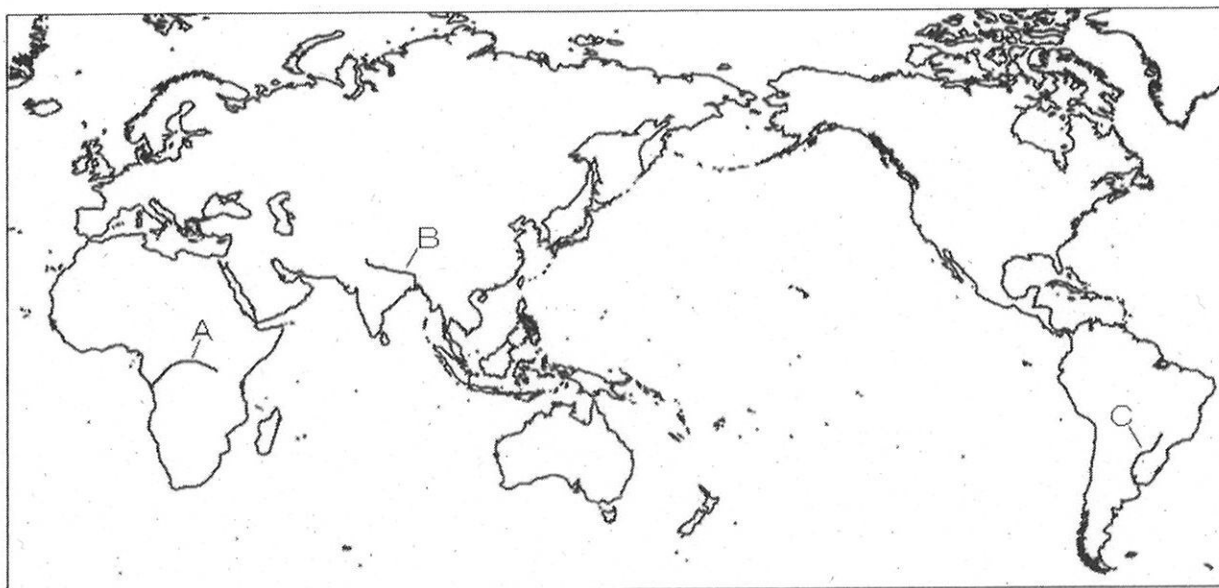


※海洋上の色の濃淡は、濃い方が塩分濃度が高いことを示す。また、海洋上の数値は表層塩分値を表す。

(Fiedler and Talley(2006)より引用)

(2) 次の図4に示される河川A～Cに関連して、後の①～③の問いに答えよ。

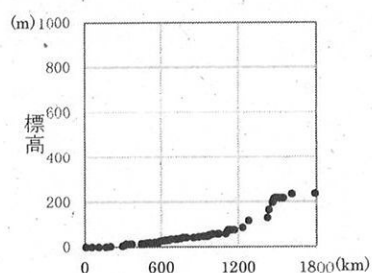
図4



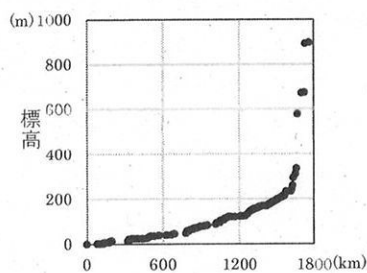
(『地理院地図』により作成)

① 河川A～Cの名称を答えよ。

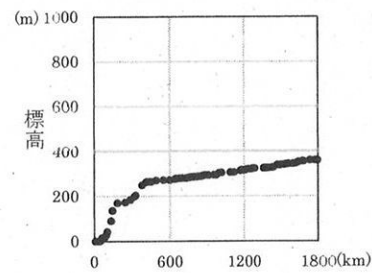
② 次のP～Rは、河川A～Cについて河口からの距離(河口から1800kmまで)と標高の関係を示したものである。河川A～CとP～Rの組合せとして最も適当なものを、後のア～カから一つ選べ。



P



Q



R

(『地理院地図』により作成)

|     | ア | イ | ウ | エ | オ | カ |
|-----|---|---|---|---|---|---|
| 河川A | P | P | Q | Q | R | R |
| 河川B | Q | R | P | R | P | Q |
| 河川C | R | Q | R | P | Q | P |

③ 河川Bと河川Cの河口部にはそれぞれ三角州とエスチュアリが形成されているが、それぞれの地形が形成されている要因について、上流域の地形を比較しながら説明せよ。



3 資源と産業について、次の(1)～(3)の設問に答えなさい。

- (1) 次の表1は、ヨーロッパのいくつかの国と日本における農業指標を示したものである。これについて、後の①～③の問いに答えよ。

表1

| 国名 | 土地面積<br>(万 ha) | 土地面積に占める割合(%) |        | 農業従事者<br>1人当たり<br>農地面積(ha) | 食料自給率(%) |     |     |     |     |        |
|----|----------------|---------------|--------|----------------------------|----------|-----|-----|-----|-----|--------|
|    |                | 耕地・樹園地        | 牧場・牧草地 |                            | 穀類       | いも類 | 野菜類 | 果実類 | 肉類  | 牛乳・乳製品 |
| ア  | 5,476          | 34.6          | 17.5   | 44.3                       | 187      | 138 | 68  | 64  | 102 | 104    |
| イ  | 395            | 10.8          | 27.3   | 12.3                       | 45       | 84  | 48  | 40  | 78  | 101    |
| ウ  | 337            | 30.9          | 22.9   | 9.6                        | 11       | 181 | 325 | 39  | 326 | 162    |
| エ  | 4,996          | 33.3          | 19.0   | 34.0                       | 57       | 65  | 216 | 139 | 145 | 89     |
| オ  | 4,073          | 6.2           | 1.1    | 34.6                       | 137      | 85  | 34  | 5   | 70  | 83     |
| 日本 | 3,645          | 12.0          | 1.6    | 2.0                        | 29       | 72  | 79  | 39  | 53  | 63     |

※土地面積…国土面積から内水面面積を除いた面積

※統計年次は、食料自給率については日本は2021年、それ以外は2019年。食料自給率以外は2020年。

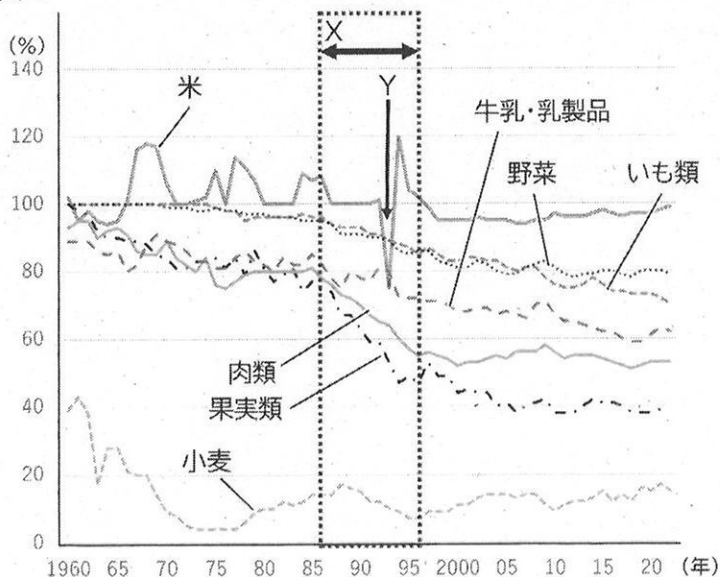
(『データブック オブ・ザ・ワールド2024』により作成)

- ① 表1中ア～オに該当する国名を、次のa～gからそれぞれ選べ。

a イギリス      b ドイツ      c フランス      d オランダ      e スイス  
f スペイン      g スウェーデン

- ② 次の図1は、日本における品目別自給率の推移を示したものである。これについて、後のア、イの問いに答えよ。

図1



(『e-Stat 食糧需給表 品目別自給率の推移』より作成)

ア 図1中Xの期間は、肉類と果実類の自給率が大幅に低下している。この理由を簡潔に説明せよ。

イ 図1中Yの年は、米の自給率が一時的に低下した。この理由を簡潔に説明せよ。

- ③ 2021年の日本の食料自給率は38% (カロリーベース) で、多くの食料を輸入に依存している。食料の輸入が増大することによる問題点を、環境負荷の観点から簡潔に説明せよ。

(2) 鉄鋼生産について、次の①～③の問いに答えよ。

- ① 次の表 2 は、鉄鋼生産の原料となる、鉄鉱石、石炭の産出上位 5 か国を示している。表 2 中のア～エに該当する国名をそれぞれ答えよ。

表 2

| 鉄鉱石[2018 年] |          |       | 石炭[2020 年] |          |       |
|-------------|----------|-------|------------|----------|-------|
| 国名          | 産出量(万トン) | 割合(%) | 国名         | 産出量(万トン) | 割合(%) |
| ( ア )       | 55,743   | 36.7  | ( ウ )      | 390,158  | 57.4  |
| ( イ )       | 29,278   | 19.3  | インド        | 71,608   | 10.5  |
| ( ウ )       | 20,931   | 13.8  | ( エ )      | 55,264   | 8.1   |
| インド         | 12,600   | 8.3   | ( ア )      | 42,578   | 6.3   |
| ロシア         | 5,670    | 3.7   | ロシア        | 33,044   | 4.9   |
| 世界計         | 152,000  | 100.0 | 世界計        | 679,860  | 100.0 |

(『データブック オブ・ザ・ワールド 2024』により作成)

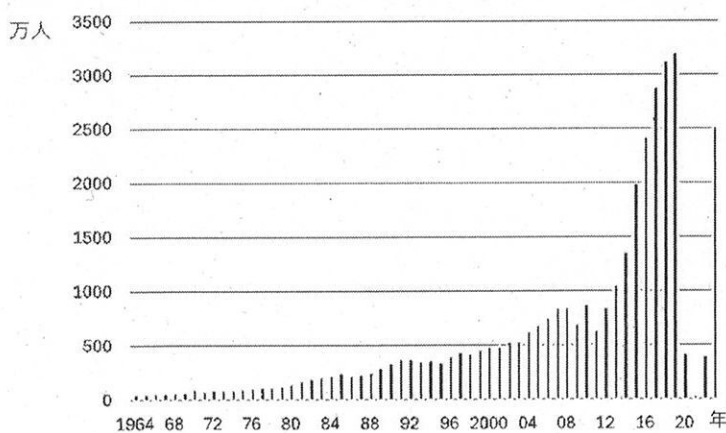
- ② 理論上、工業は、原料や製品の輸送費が小さくなる地点に立地するとされている。このような観点で見た場合、鉄鋼業は原料指向型工業に分類されるが、次の a～e のうち、原料指向型工業に分類されるものをすべて選べ。

a ビール    b セメント    c 自動車    d 紙・パルプ    e 印刷

- ③ 鉄鋼業の立地移動について授業で取り上げる場合に、石炭産地から鉄鉱石産地へ、また日本ではさらに臨海部へと移動してきた理由をどのように説明するか答えよ。

- (3) 次の図 2 は、訪日外国人観光客数の推移を示している。これについて、後の①、②の問いに答えよ。

図 2



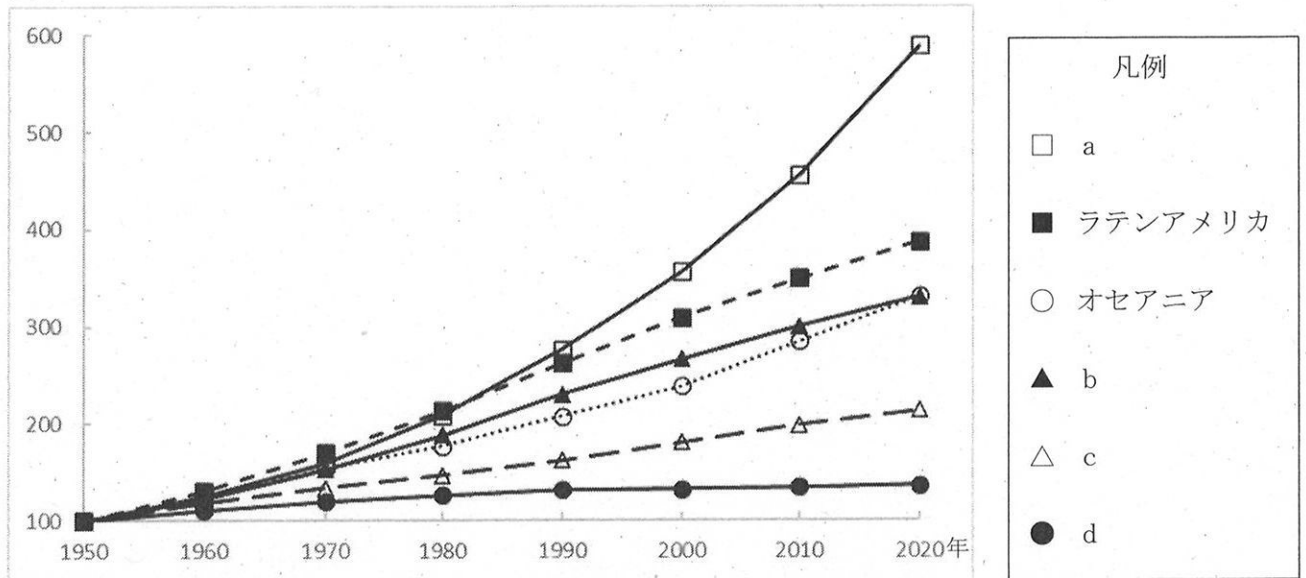
(日本政府観光局の資料により作成)

- ① 2020 年に訪日した外国人観光客数が大幅に前年を下回った理由を簡潔に説明せよ。
- ② 2019 年までは、おおむねすべての期間で外国人観光客数が増加しており、特に 2010 年以降の伸びが著しい。外国人観光客の増加によって、地域社会にもたらされた良い影響と悪い影響の双方について、簡潔に説明せよ。

4 人口、人々の暮らし、都市について、次の(1)～(5)の設問に答えなさい。

- (1) 次の図1は、1950年を100とした場合の6大州の人口の推移(1950～2020年)を示したものである。図1中のa～dは、アジア、北アメリカ、アフリカ、ヨーロッパのいずれかが該当する。図1中のa～dに該当する地域名を、それぞれ答えよ。

図1



(『世界国勢図会 2020/21年版』により作成)

- (2) 次の表1は、DAC(OECD開発援助委員会)加盟国上位6か国の政府開発援助の実績について示したものである。表1のA～Cに該当する国名を、それぞれ答えよ。

表1

| 国名   | 実績額<br>(百万ドル) | 対GNI比率<br>割合(%) | 二国間ODA<br>贈与比率 |
|------|---------------|-----------------|----------------|
| A    | 55,277        | 0.22            | 100            |
| B    | 35,025        | 0.83            | 92.9           |
| 日本   | 17,475        | 0.39            | 37.7           |
| C    | 15,876        | 0.56            | 71.0           |
| イギリス | 15,748        | 0.51            | 96.8           |
| カナダ  | 7,832         | 0.37            | 84.1           |

※統計年次は、2022年。

(『世界国勢図会 2023/24』などにより作成)

- (3) 次の図2は、西ヨーロッパと北アメリカにおける垂直的な都市景観を示したものである。両地域の都市景観にこのような違いが生じる理由を、簡潔に説明せよ。

図2



- (4) 次の図3と図4の集落を授業で取り上げる場合に、それぞれの集落の起源や集落の特徴の違いについて、どのように説明するか答えよ。

図3

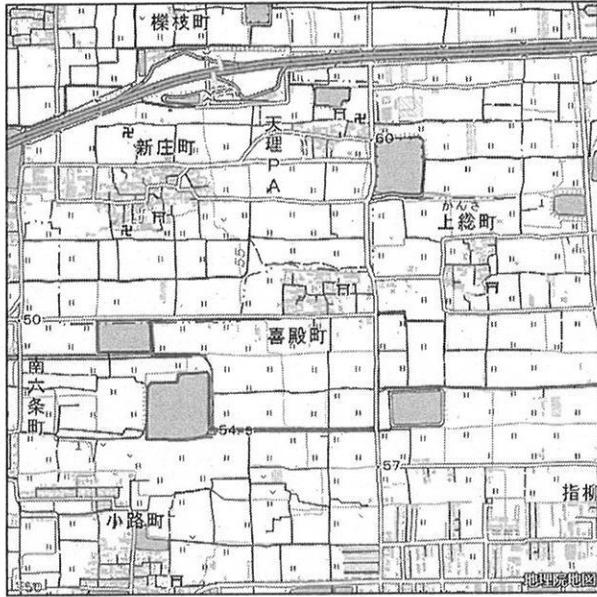


図4

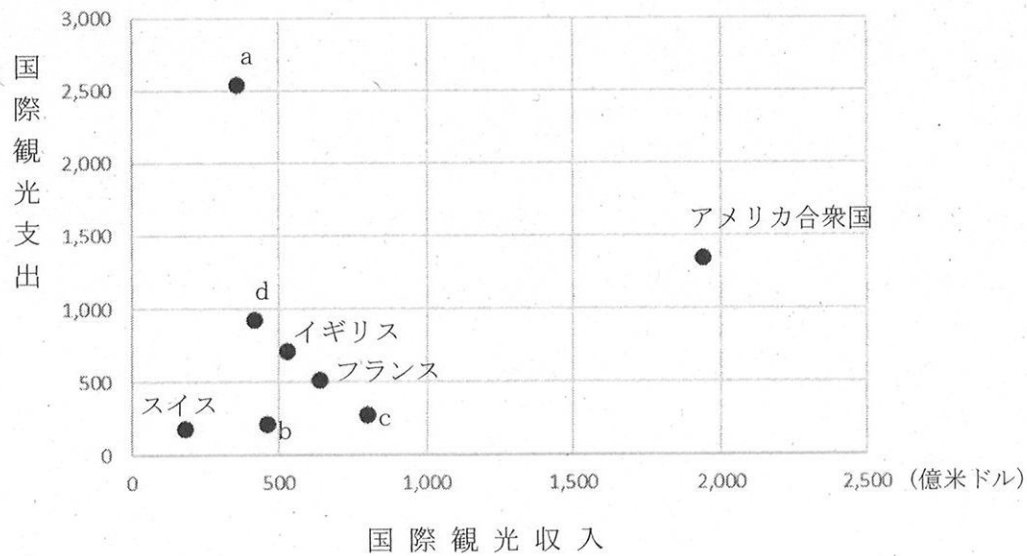


(『地理院地図』により作成)

- (5) 次の図5は、いくつかの国の国際観光収入と国際観光支出の関係を示したものである。後の①、②の問いに答えよ。

図5

(億米ドル)



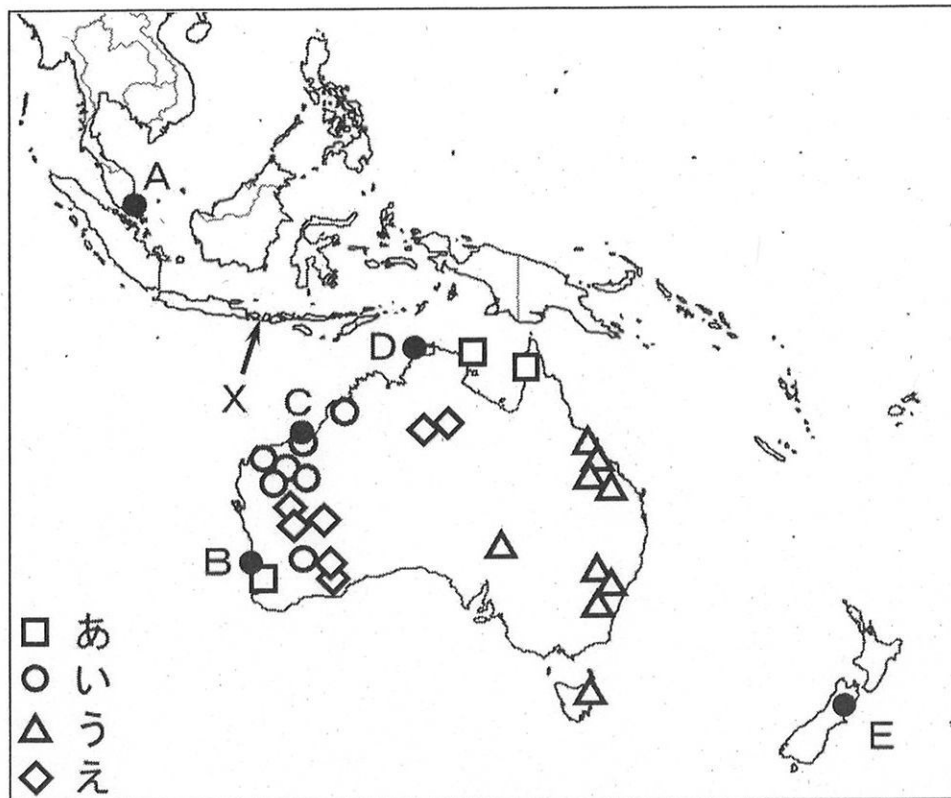
※データ年次は2019年

(『観光白書(令和3年版)』などにより作成)

- ① 図5中のa～dは、中国、日本、ドイツ、スペインのいずれかが該当する。図5中のa～dに該当する国名を、それぞれ答えよ。
- ② 図5中のイギリスは、国際観光収入より国際観光支出の方が多くなっていることがわかる。この理由の一つとして考えられることを、イギリスの位置や気候に着目し、フランスと比較して説明せよ。

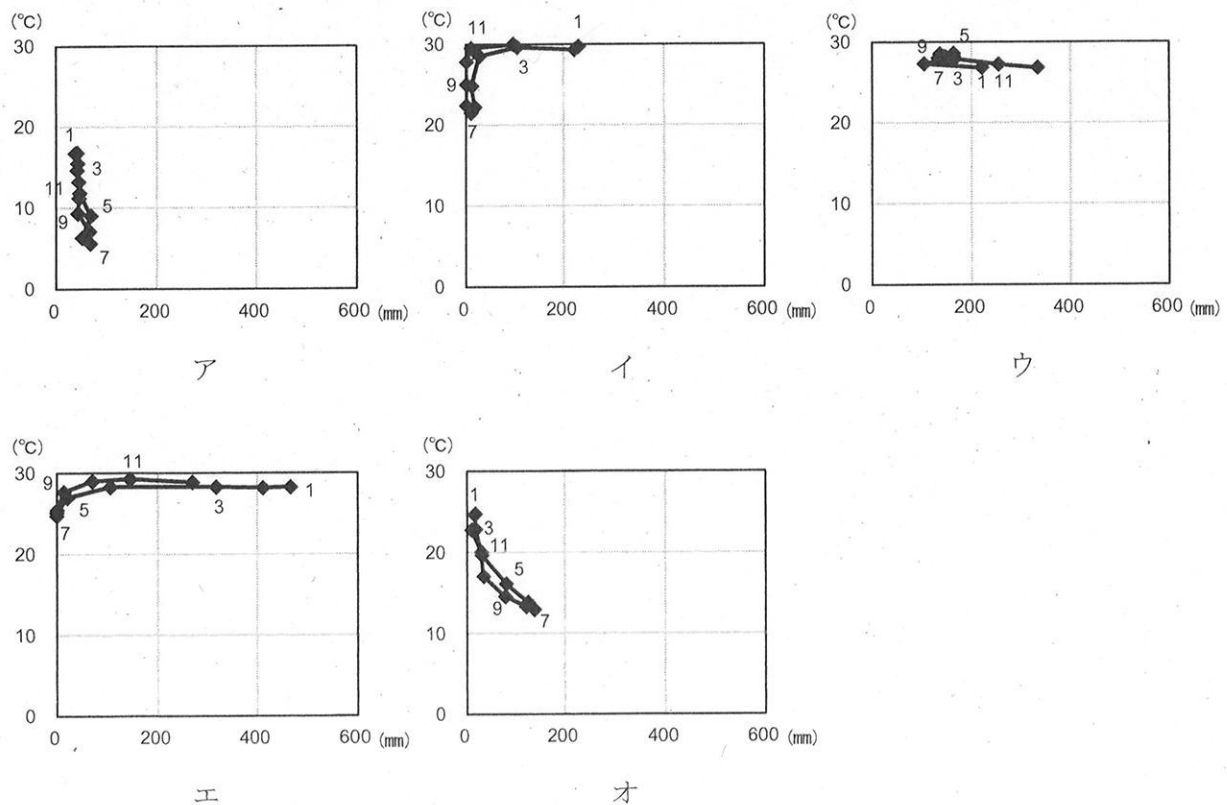
5 東南アジアとオセアニアについて、次の図1を見て、後の(1)～(4)の設問に答えなさい。

図1



(『Diercke Weltatlas(2008)』などにより作成)

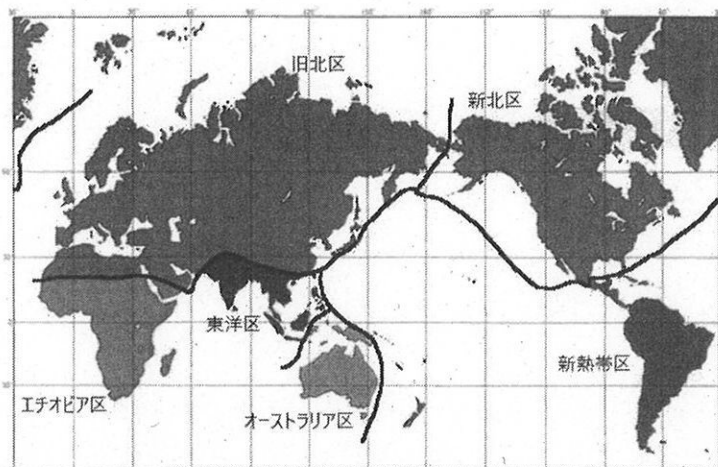
(1) 次のア～オは、図1中のA～Eのいずれかの地点における年間の気温と降水量の変化を示したハイスターグラフである。A～Eの各地点を示したものを、ア～オから一つずつ選べ。



(2) 図1中のあ～えは、オーストラリアで産出する資源の主な産出地を示したものである。あ～えに該当する資源名をそれぞれ答えよ。

(3) 図1中のXの海峡は、図2に示すウォーレス線と呼ばれる動物地理区の境界線の一部をなしており、この海峡を境にオーストラリア大陸側では多くの固有種が生息していることが知られている。後の①、②の問いに答えよ。

図2 動物の分布を制限する地理的障壁によって区分された動物地理区



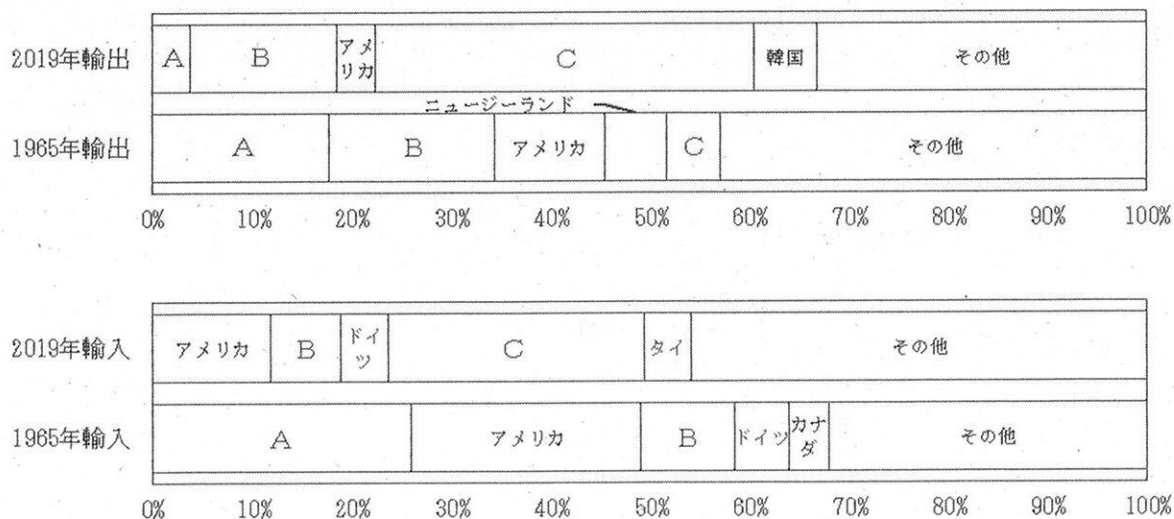
(生物多様性センターHP より引用一部改変)

① Xの海峡が動物地理区の境界の一部をなす理由を、海峡の名称を明らかにしつつ、海峡と海峡周辺の地形を関連付けて説明せよ。

② 現代の世界的な海上交通においてXの海峡が果たしている役割を簡潔に説明せよ。

(4) 次の図3は、1965年と2019年におけるオーストラリアの主な輸出入相手国を、総輸出額、総輸入額に占める割合で示したものである。後の①、②の問いに答えよ。

図3



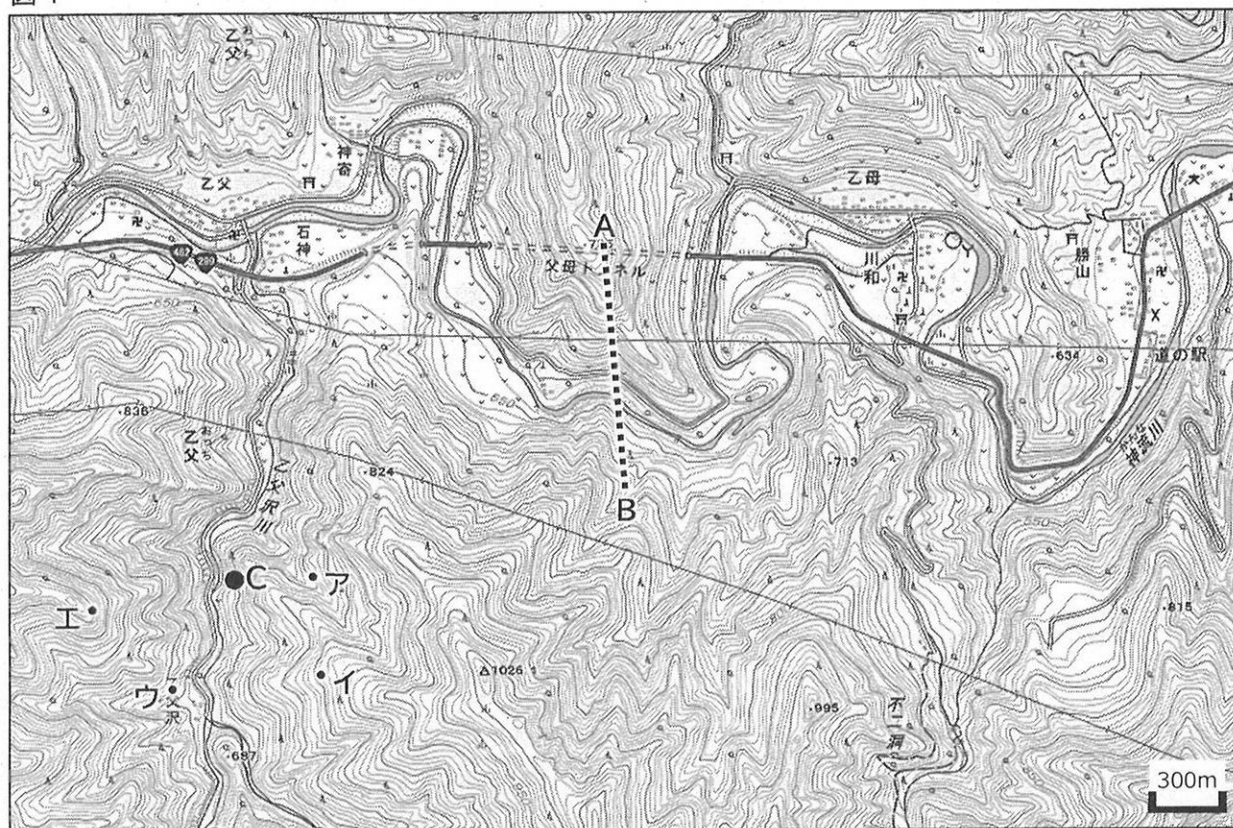
(『世界国勢図会 2021/22』などにより作成)

① 図3中のA～Cに該当する国名をそれぞれ答えよ。

② オーストラリアの対外関係は、1970年代に貿易政策と移民政策において大きく転換した。その内容と背景について説明せよ。

- 6 次の図1は群馬県南西部を流れる神流川の上流流域の地形図(地理院地図)である。これについて、後の(1)～(5)の設問に答えなさい。

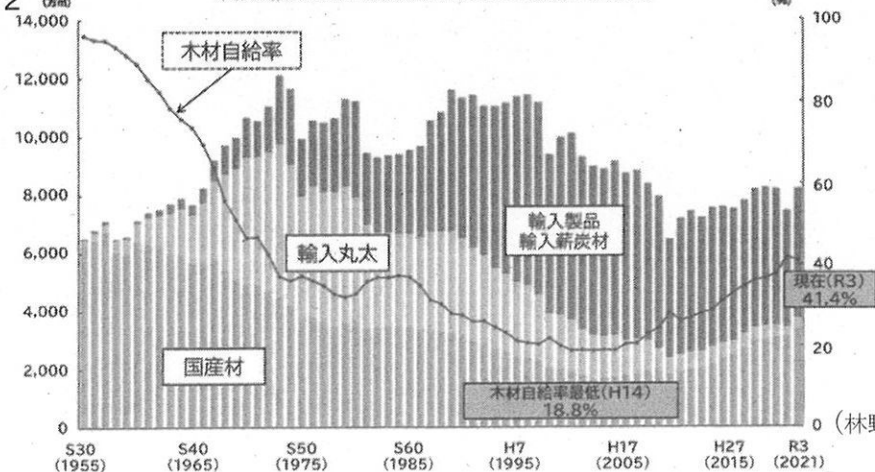
図1



(『地理院地図』により作成)

- (1) 図1中のA…Bの断面のような横断型を示す河谷について、次の①、②の問いに答えよ。
  - ① このような横断型を示す河谷の地形の名称を答えよ。
  - ② ①のような河谷は日本各地の山間部で見ることができる。このような河谷が日本で形成されやすい理由を、形成過程を踏まえて簡潔に説明せよ。
- (2) 図1中のC地点の集水域に含まれない場所を、この図中のア～エのうちから一つ選べ。
- (3) 図1に示す範囲では、豊富な森林資源を活用した林業が盛んである。次の図2は、日本国内における木材供給量と木材自給率の推移を示している。日本の木材自給率は昭和30年代以降低下傾向であったが、平成14(2002)年を境に回復傾向にある。木材自給率が回復してきている理由について、木材供給量の推移に着目して簡潔に説明せよ。

図2 木材供給量(左目盛り)および木材自給率(右目盛り)の推移

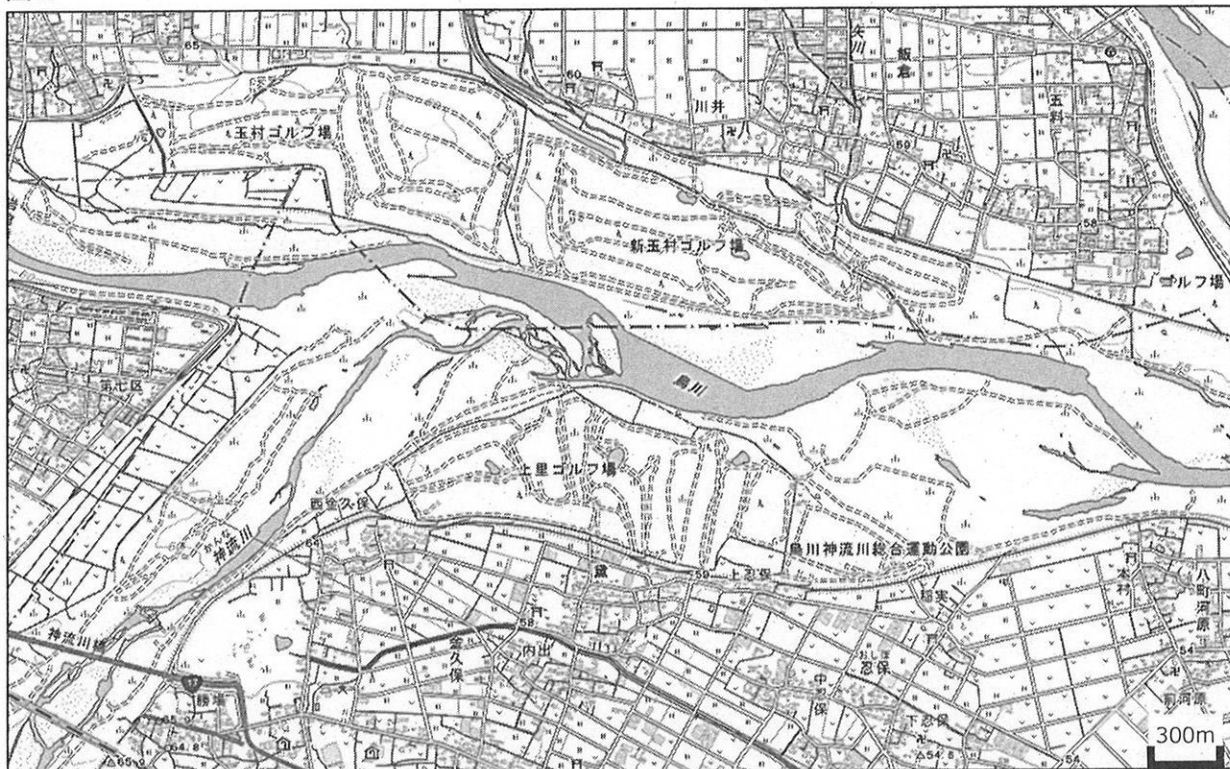


0 (林野庁のホームページより作成)



- (4) 次の図3は神流川の下流地域の地形図（地理院地図）である。また、下の図4は、図3の範囲の地形分類図であり、凡例のD～Fは「自然堤防」「後背湿地」「旧河道」のいずれかである。D～Fと地形の組合せとして正しいものを、次ページのア～カのうちから一つ選べ。

図3



(『地理院地図』により作成)

図4



D
  E
  F
  台地
  扇状地

(『地理院地図』より作成)

|   | ア    | イ    | ウ    | エ    | オ    | カ    |
|---|------|------|------|------|------|------|
| D | 自然堤防 | 自然堤防 | 後背湿地 | 後背湿地 | 旧河道  | 旧河道  |
| E | 後背湿地 | 旧河道  | 自然堤防 | 旧河道  | 自然堤防 | 後背湿地 |
| F | 旧河道  | 後背湿地 | 旧河道  | 自然堤防 | 後背湿地 | 自然堤防 |

- (5) 自然災害と防災に関する単元において、調査・探究活動を、図1と図3の範囲で行う場合に、生徒に注目させたい災害の例と、防災計画にあたっての課題として考察させたい点を、それぞれ簡潔に説明せよ。



|        |         |      |  |    |  |
|--------|---------|------|--|----|--|
| 地理解答用紙 | 2 枚中の 1 | 受験番号 |  | 氏名 |  |
|--------|---------|------|--|----|--|

(8年)

1

|       |   |   |   |
|-------|---|---|---|
| (1) ア | イ | ウ | エ |
| (2)   |   |   |   |
| (3)   |   |   |   |

2

|         |   |       |     |   |
|---------|---|-------|-----|---|
| (1) ①   | ② | (度)   | ③ P | Q |
| ④ 大気の流れ |   | 海水の流れ |     |   |
| ⑤       |   |       |     |   |
| (2) ① A | B | C     | ②   |   |
| ③       |   |       |     |   |

3

|         |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| (1) ① ア | イ | ウ | エ | オ |
| ② ア     |   |   |   |   |
| イ       |   |   |   |   |
| ③       |   |   |   |   |
| (2) ① ア | イ | ウ | エ | ② |
| ③       |   |   |   |   |
| (3) ①   |   |   |   |   |
| ②       |   |   |   |   |

|        |         |      |  |    |  |
|--------|---------|------|--|----|--|
| 地理解答用紙 | 2 枚中の 2 | 受験番号 |  | 氏名 |  |
|--------|---------|------|--|----|--|

(8年)

4

|         |   |   |   |
|---------|---|---|---|
| (1) a   | b | c | d |
| (2) A   | B | C |   |
| (3)     |   |   |   |
| (4)     |   |   |   |
| (5) ① a | b | c | d |
| ②       |   |   |   |

5

|         |   |   |   |   |
|---------|---|---|---|---|
| (1) A   | B | C | D | E |
| (2) あ   | い | う | え |   |
| (3) ①   |   |   |   |   |
| ②       |   |   |   |   |
| (4) ① A | B | C |   |   |
| ② 内容    |   |   |   |   |
| 背景      |   |   |   |   |

6

|                |      |
|----------------|------|
| (1) ①          | ②    |
| (2)            |      |
| (3)            |      |
| (4)            |      |
| (5) 図 1 [災害の例] | [課題] |
| 図 3 [災害の例]     | [課題] |

以下はあくまでも解答の一例です。

|        |         |      |  |    |  |
|--------|---------|------|--|----|--|
| 地理解答用紙 | 2 枚中の 1 | 受験番号 |  | 氏名 |  |
|--------|---------|------|--|----|--|

(8年)

1 (21点)

|                                                                                                                        |       |       |        |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|-------|--------|
| (1) ア 追究 3点×4                                                                                                          | イ 民主的 | ウ 多様性 | エ 持続可能 |
| (2) 4点<br>人や資源、財、情報などあらゆるものは、地球上に不均等に分布しており、全ての場所は交通や通信等によって他の場所や地域と結び付いて、依存し合っているということ。                               |       |       |        |
| (3) 5点<br>(例) 地形図における等高線の学習において、「地理院地図」を活用して、ある地点からある地点の断面図を作成することによって、諸資料から地理に関する様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめる技能を身に付けることができる。 |       |       |        |

2 (37点)

|                                                                                                                                                                                                     |            |                 |          |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------|-----------------|----------|
| (1) ① 3点 キ                                                                                                                                                                                          | ② 3点 O (度) | ③ P 2点 C f b    | Q 2点 D w |
| ④大気の流れ 2点 偏西風                                                                                                                                                                                       |            | 海水の流れ 2点 北大西洋海流 |          |
| ⑤ 8点<br>北大西洋では、北大西洋海流のもたらす高塩分の海水が冷却されて海水の比重が大きくなり、深層流が形成されている。地球温暖化によって周辺域の氷河や海水が融解し海水中に大量の淡水が流入すると、海水の塩分が薄まることで海水の比重が小さくなり、深層流の形成が阻害され表層流を含めた海洋の深層循環が弱まる。深層循環が弱まると、温暖な北大西洋海流も弱まるため、大西洋北部の気候が寒冷化する。 |            |                 |          |
| (2) ①A 2点 コンゴ川                                                                                                                                                                                      | B 2点 ガンジス川 | C 2点 ラブラタ(パラナ)川 | ② 3点 カ   |
| ③ 6点<br>河川Bのガンジス川は、急峻なヒマラヤ山脈を源流に持ち、山地の侵食に伴う大量の土砂が河口部に運搬されて堆積し三角州が形成されている。一方、河川Cのラブラタ川は平坦なブラジル高原を源流に持ち、河川の運搬する土砂量が少ないため、海水準の上昇により沈水した河口部の入江が土砂によって埋積されず、エスチュアリが形成されている。                              |            |                 |          |

3 (40点)

|                                                                                                                                                                |        |      |          |             |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------|------|----------|-------------|
| (1) ①(各1点) ア c                                                                                                                                                 | イ e    | ウ d  | エ f      | オ g         |
| ②ア(4点)<br>例) 1986年からのGATTウルグアイラウンドにおける貿易自由化交渉を受け、1988年の日米通商交渉で牛肉・オレンジの輸入関税の引下げ、輸入枠の撤廃が決定され、1992年以降、段階的に実施されたことで、輸入量が増加したから。                                    |        |      |          |             |
| イ(4点)例) 1993年はオホーツク海高気圧の勢力が強く、梅雨前線が長期間日本に停滞したことに加え、弱い太平洋高気圧の縁を回り込む形で台風が次々と接近したことで天候不順となり、全国の米の作況指数が100を大幅に下回ったことで、タイなどから米を緊急輸入したため。                            |        |      |          |             |
| ③(4点)例) 世界各地から農産物を輸入している日本では、食料の輸入量に輸送距離をかけたフードマイレージが非常に大きく、輸送に伴う二酸化炭素排出による地球環境への負荷が問題視されている。                                                                  |        |      |          |             |
| (2) ①(各2点) ア オーストラリア                                                                                                                                           | イ ブラジル | ウ 中国 | エ インドネシア | ②(各1点) b, d |
| ③(4点)例) 鉄鋼業は、20世紀初めは原料の比率は石炭の方が多かったため、石炭産地に立地していたが、20世紀中頃には鉄鉱石が石炭を上回り、鉄鉱石産地に立地するようになった。また日本では、1960年代に多くの炭鉱が閉鎖し、輸入資源に依存するようになったため、臨海部へ立地が変化した。                  |        |      |          |             |
| (3) ①(3点)<br>例) 新型コロナウイルス感染症の世界的流行のため(観光客が急減した)。                                                                                                               |        |      |          |             |
| ②(4点)例) 大勢の人々が観光に訪れることによって、観光業の雇用が増加し、観光客の旺盛な買い物需要によって、経済活性化がもたらされるなどの効果が見られた。一方で、大都市や有名観光地では、宿泊施設の不足や、交通渋滞などにより地元の人々の生活・文化が脅かされるといった、オーバーツーリズムと呼ばれる問題が発生している。 |        |      |          |             |

|        |         |      |    |
|--------|---------|------|----|
| 地理解答用紙 | 2 枚中の 2 | 受験番号 | 氏名 |
|--------|---------|------|----|

(8年)

#### 4 (34点)

|                                                                                                                                                |       |         |         |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------|---------|---------|
| (1) a アフリカ 1点×4                                                                                                                                | b アジア | c 北アメリカ | d ヨーロッパ |
| (2) ①A アメリカ合衆国 2点×3                                                                                                                            | B ドイツ | C フランス  |         |
| (3) 6点<br>西ヨーロッパの都市は歴史が古く、都心部には歴史的建造物が多く残っており、景観保全のため高層建築物が規制されている。そのため、近代的な高層ビルは郊外の副都心に形成される。北アメリカは都市形成の歴史が浅く、都心部に近代的な高層ビルが建ち並び、中心業務地区が形成される。 |       |         |         |
| (4) 6点<br>図3は、古代の条里制を起源とした条里制集落である。直交する道路や水路に特徴があり、条などの地名が見られ、塊村形態である。図4は近代を起源とした、北海道の開拓と防衛を目的につくられた屯田兵村である。格子状の道路に特徴があり、兵などの地名が見られ、散村形態である。   |       |         |         |
| (5) ① a 中国 2点×4                                                                                                                                | b 日本  | c スペイン  | d ドイツ   |
| ② 4点<br>イギリスは、フランスと比較すると緯度が高く、日差しが弱い。長期休暇の時期には、日差しをもとめてフランス南部などの温暖な地域に出かけることが多くなる。                                                             |       |         |         |

#### 5 (42点)

|                                                                                                                                         |          |         |        |        |
|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------|---------|--------|--------|
| (1) A 2点 ウ                                                                                                                              | B 2点 オ   | C 2点 イ  | D 2点 エ | E 2点 ア |
| (2) あ 2点 ポーキサイト                                                                                                                         | い 2点 鉄鉱石 | う 2点 石炭 | え 2点 金 |        |
| (3) ① 6点<br>Xはロンボク海峡と呼ばれ、周辺の海底に広がる大陸棚よりも水深が大きい。大陸棚の多くが陸化した更新世の海水準低下期にも陸続きとならずに海峡が生物の移動を阻んだため、海峡の両側で生物種に大きな違いが見られる。                      |          |         |        |        |
| ② 4点<br>インド洋と太平洋を結ぶ海上の最短経路であるマラッカ海峡を通ることのできない大型の船舶が迂回する経路となっている。                                                                        |          |         |        |        |
| (4) ①A 2点 イギリス                                                                                                                          | B 2点 日本  | C 2点 中国 |        |        |
| ② 内容 4点<br>距離も近く急速な工業発展を遂げるアジア諸国との関係を重視するようになり、白人以外の移民を制限する白豪主義を撤廃して、アジアからの移民を大量に受け入れるようになった。                                           |          |         |        |        |
| 背景 4点<br>オーストラリアはイギリス連邦の加盟国で、旧宗主国であるイギリスとの結びつきが強く、長らく主要な貿易相手国でもあったが、イギリスが EC に加盟するなどヨーロッパ諸国との関係を強めたため、オーストラリアがアジア諸国との結びつきを拡大せざるを得なくなった。 |          |         |        |        |

#### 6 (26点)

|                                                                                                                            |                                                                                     |
|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) ①(2点)<br>V字谷                                                                                                           | ②(4点)例 新期造山帯に位置する日本では、山々の標高が高く急な傾斜地が多いことや、湿潤気候で雨が多いことから、河川の侵食と運搬の作用が強く、V字谷が形成されやすい。 |
| (2) (2点) ア                                                                                                                 |                                                                                     |
| (3) (4点)例 熱帯産木材の輸出減少による価格高騰や、かつて大規模に植林した森林が成長して利用できるようになり、また、バイオマス発電用の木材チップなど燃料用の需要増加や政府による国産材の利用振興策の後押しも加わり、国産材の供給量が増加した。 |                                                                                     |
| (4) (2点) ア                                                                                                                 |                                                                                     |
| (5) 図1 [災害の例] (2点)<br>例 土砂災害                                                                                               | [課題] (4点)例 地域全体が中山間地域であることから、高齢化が推測されるため、警戒レベルの低い段階での避難を進めなければならぬ点。                 |
| 図3 [災害の例] (2点)<br>例 洪水                                                                                                     | [課題] (4点)例 河川の合流域にあたるため、本流の水位がすでに高いと、支流の水が流れにくくなることで発生する氾濫(バックウォーター)の危険がある点。        |